

北海道教育大学岩見沢校

音楽コース オーボエ専攻

4年 中村和乃子

留学先：ノルウェー ベルゲン大学グリーグ音楽院

～ノルウェー、グリーグ音楽院への留学を終えて～

海外へ一度も出たことの無かった私にとって、留学中に経験した全てのことが新しく、刺激的でした。『留学』とは、海外での学校生活だけでなく、歴史・文化・思想などあらゆるものが異なる場所での日常生活も全て含めて経験するものであると強く感じました。留学したばかりの頃、期待よりも不安の方が大きかった私に、ノルウェーの人々はとても親切に、何事にも親身になって対応してくれました。それは表面的な優しさではなく、北欧特有の風土の中で育まれた人間的な優しさ・国民性であると感じています。パーティーに積極的に招いてくれたり、普段のたわいもない会話に誘ってくれたり、居心地の良い場所やコミュニケーションをとる場をたくさん作ってくれました。

何よりも一番驚いたことは、内面的な上下関係があまり無いところです。レッスン中や授業中、先生に対して生徒が意見する場面が多々ありました。しかしそれは決して悪い方向に進むことはなく、身分の上下に関係なく一人一人の人権が尊重されている、国としての特徴であると思います。アンサンブルの練習中、みんなで問題点や改善策を考え、議論していた時間がとても有意義でした。そのように作り上げた音楽はとても生き生きしているように感じます。

グリーグ音楽院は、ベルゲンで一番大きなホールである「グリーグホール」の隣にあり、そのホールはグリーグ音楽院の講師の方々が所属しているオーケストラの拠点となっています。そのような隣り合った立地条件にあることによって、オーケストラのリハーサルを見学できたり自分の練習の合間などに演奏会を聴きに行けたりと、グリーグ音楽院の生徒はとても良い環境の中で学ぶことができると思います。また、ノルウェーに限らずヨーロッパでは音楽（芸術）が日常生活の一部になっていると感じました。演奏会へ行くことは特別なことではなく日常であり、楽しむために積極的に足を運んでいる様子でした。私がソロで演奏した時、名前も知らない外国人の学生のためにたくさんの方が来て下さったことには本当に驚きました。真剣に演奏を聴き、温かい拍手を下さり、帰り際に声をかけてくれた人もいました。聴衆と演奏者が一体となった演奏会をたくさん経験した今、そのような環境が音楽家を育てるのだと強く感じています。

1年間という時間は本当にあつという間でしたが、日本しか知らなかった私にとってはとても有意義な時間であり、貴重な経験でした。海外に行くとはいっても、数日間滞在する旅行と、居住することによって得られるものは全く違うと思います。実際にその土地に入り込み、生活することによって、様々な視点からより深く理解することが出来、その国

を・土地を感じる事が出来ます。世界には様々な人がいると思うと、自分のあり方を考えるきっかけにもなりました。留学はかけがいのない特別な経験であり、より多くの人にしてもらいたいと強く思います。



校内のホールでの演奏会



学校でのクリスマスパーティー



フロイエン山から望むベルゲンの街



古い建物のある街並み



吹奏楽コンクール終了後